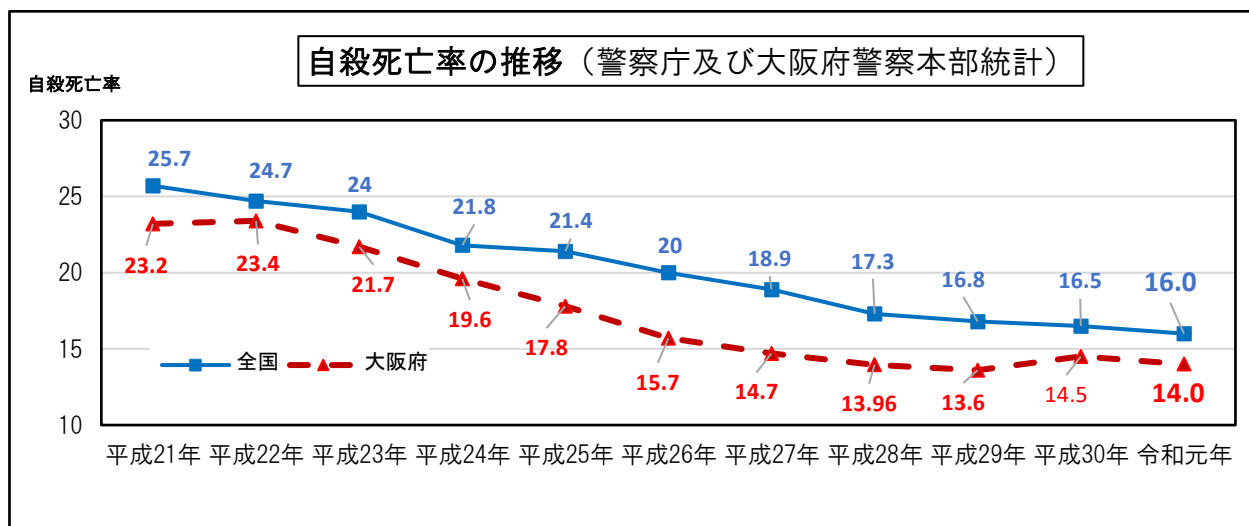
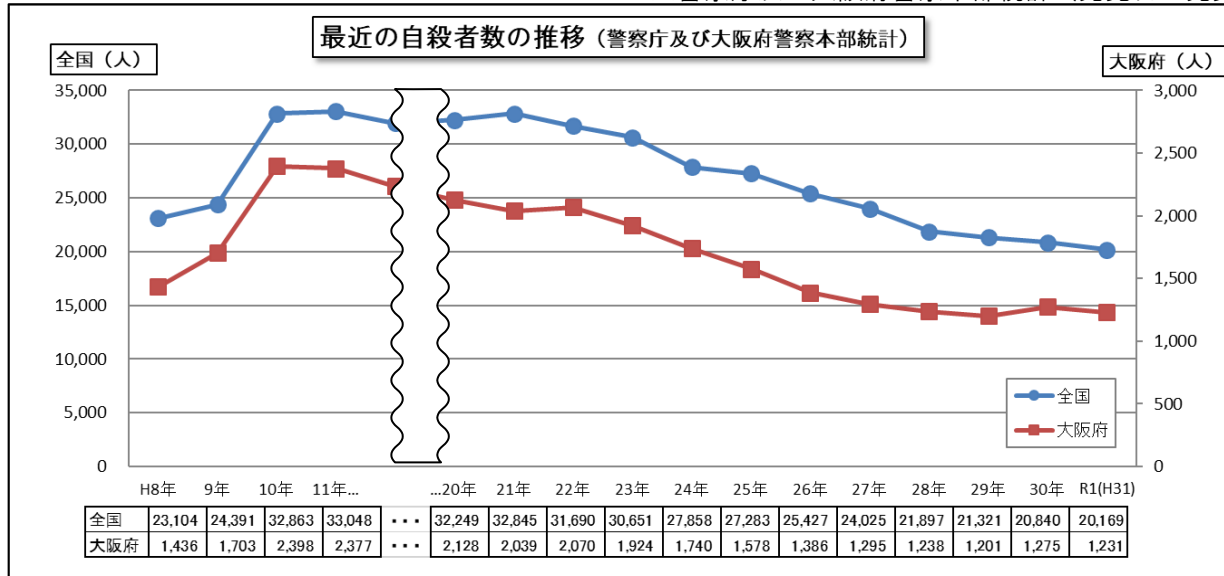


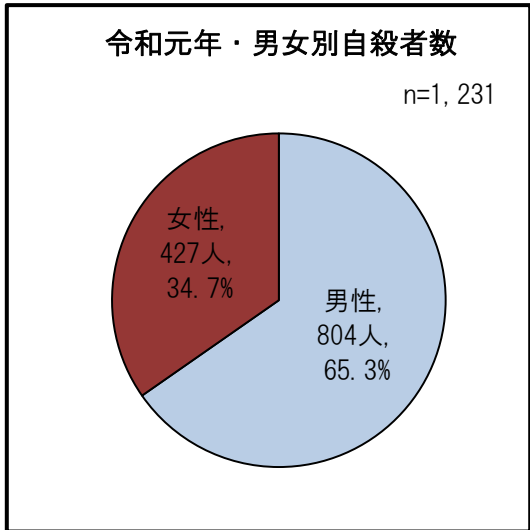
大阪府の自殺の概要＜令和元年（平成31年）＞

※警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）

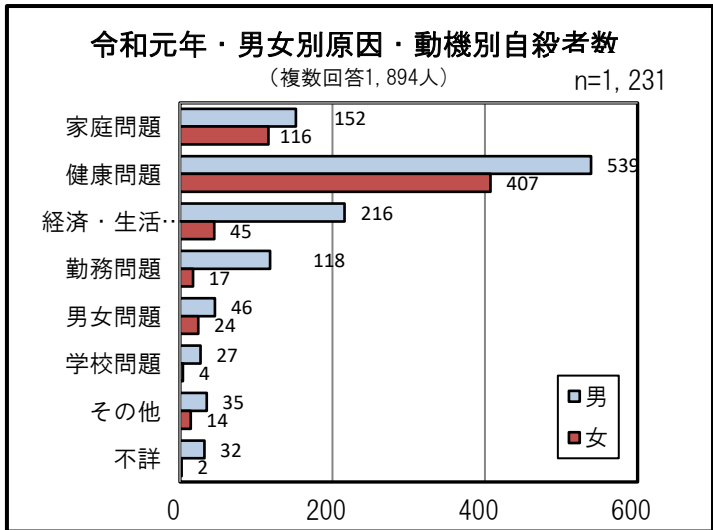


全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

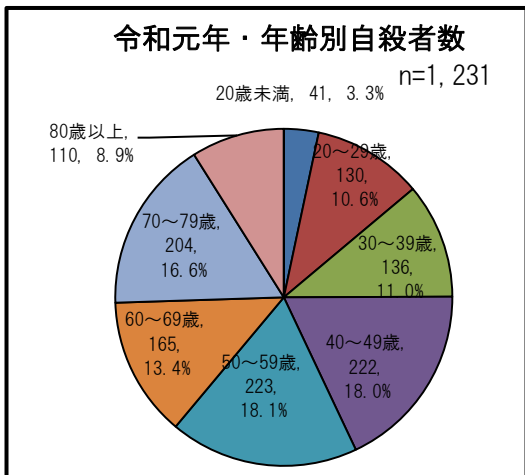
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり、2千人を下回りました。令和元年は前年より44人減の1,231人となり、依然として1日に3人以上の方が亡くなられています。自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は14.0となっています。



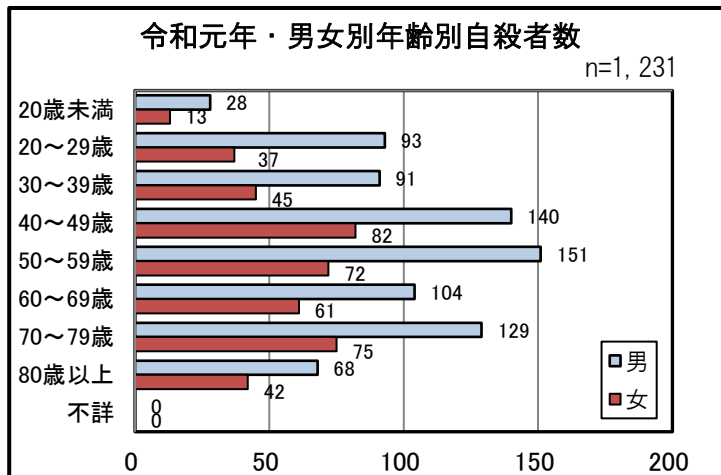
男女別自殺者数は、男性が804人（65.3%）、女性が427人（34.7%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。



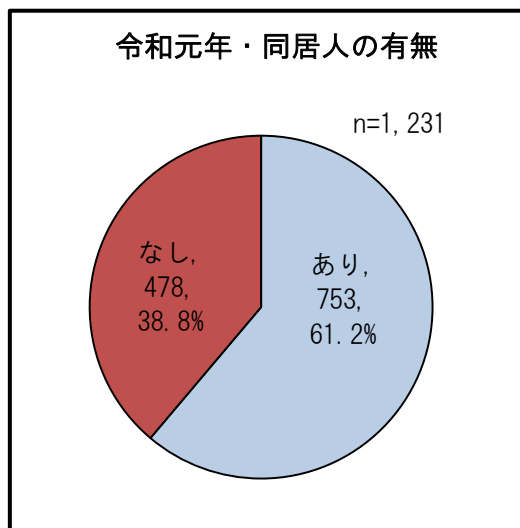
平成19年から原因・動機を3項目まで計上することとなっており、昨年同様「健康問題」「家庭問題」「経済・生活問題」の3項目が男女ともに上位を占めています。



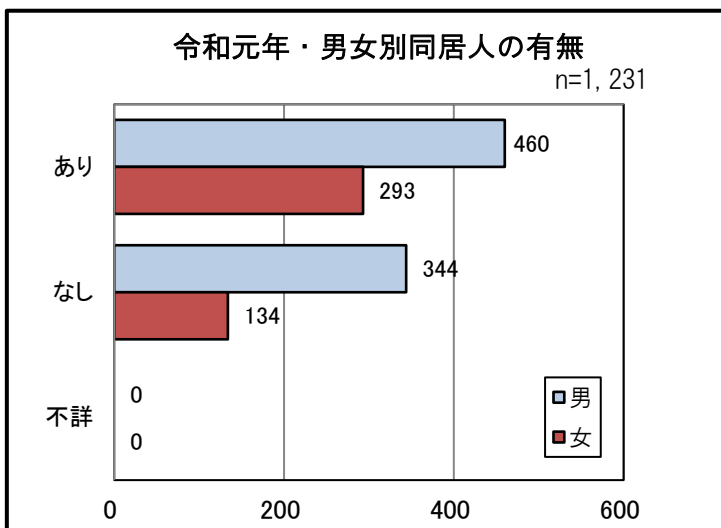
年齢別自殺者数は、「50～59歳」が223人（18.1%）と最も多く、次いで「40～49歳」が222人（18.0%）、「70～79歳」が204人（16.6%）と続いています。また、39歳以下の若年層の自殺者数は307人です。



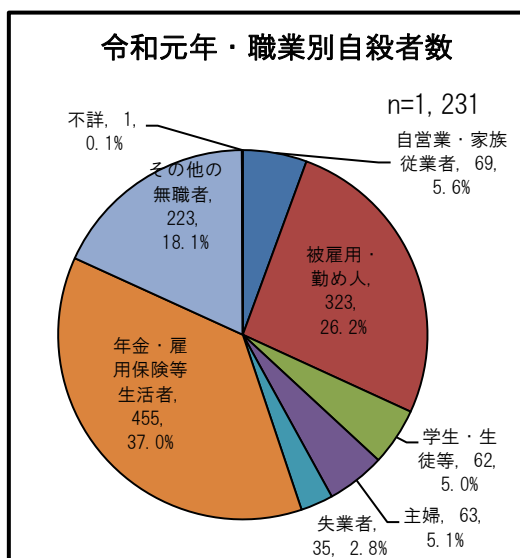
男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「50～59歳」（18.8%）が最も多く、次いで「40～49歳」（17.4%）が続いています。女性は「40～49歳」（19.2%）の自殺者数が最も多く、次いで「70～79歳」（17.6%）が続いております。前年と比べると、男性では「80歳以上」が26人減・「30～39歳」が10人減、女性では「80歳以上」が12人減・「60～69」が11人減で、男女ともに80歳以上が少なくなっています。



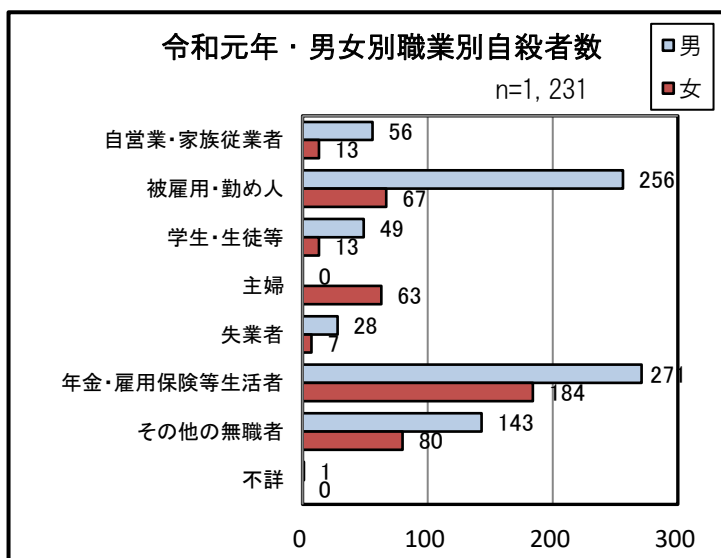
同居人の有無では、「同居人あり」が753人（61.2%）、「同居人なし」が478人（38.8%）となっており、「同居人あり」の方が6割強と多くなっています。



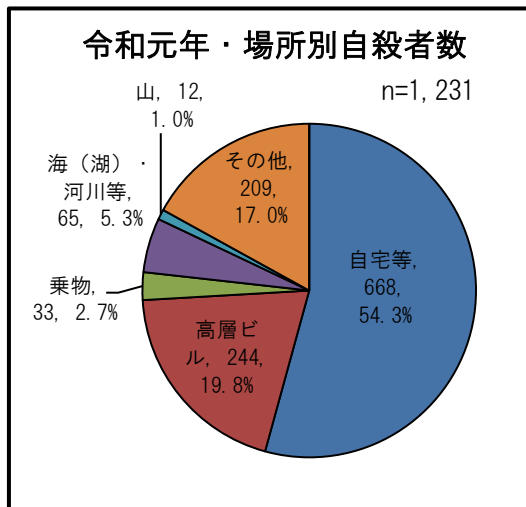
男女別の同居人の有無では、男性460人（57.2%）、女性293人（68.6%）が「同居人あり」で、男性344人（42.8%）、女性134人（31.4%）が「同居人なし」でした。割合で見ると、女性の方が「同居人あり」が多くなっています。



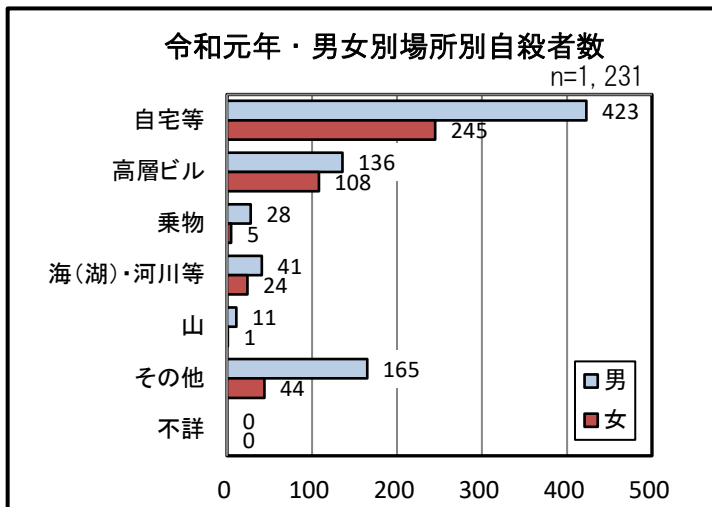
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が455人（30.7%）と最も多く、昨年より66人減っています。次いで「被雇用・勤め人」が323人（26.2%）となっています。



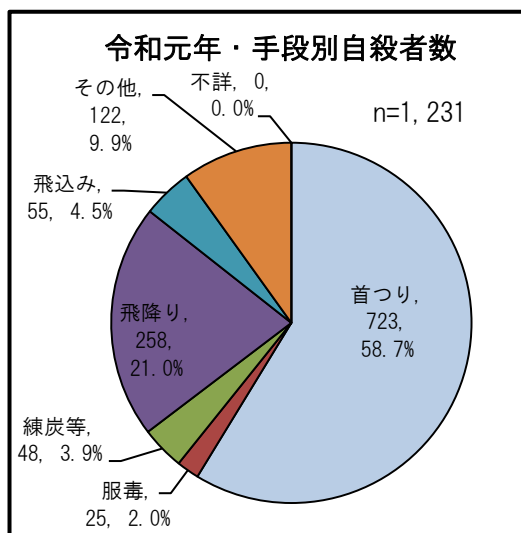
男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「年金・雇用保険等生活者」271人（33.7%）、次いで「被雇用・勤め人」256人（31.8%）が多く、女性は「年金・雇用保険等生活者」184人（43.0%）、次いで「その他の無職者」80人（18.7%）が多くなっています。



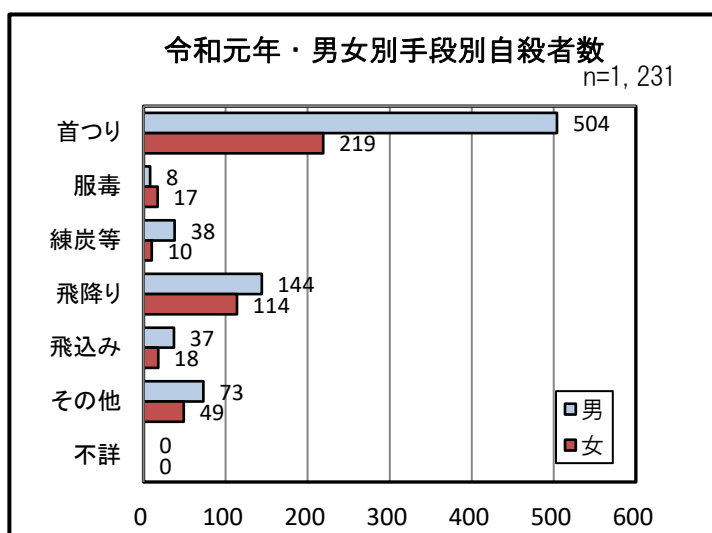
場所別自殺者数では、「自宅等」が668人(54.3%)と5割強を占めています。次いで「高層ビル」が244人(19.8%)と続いています。



男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで「高層ビル」と続いています。

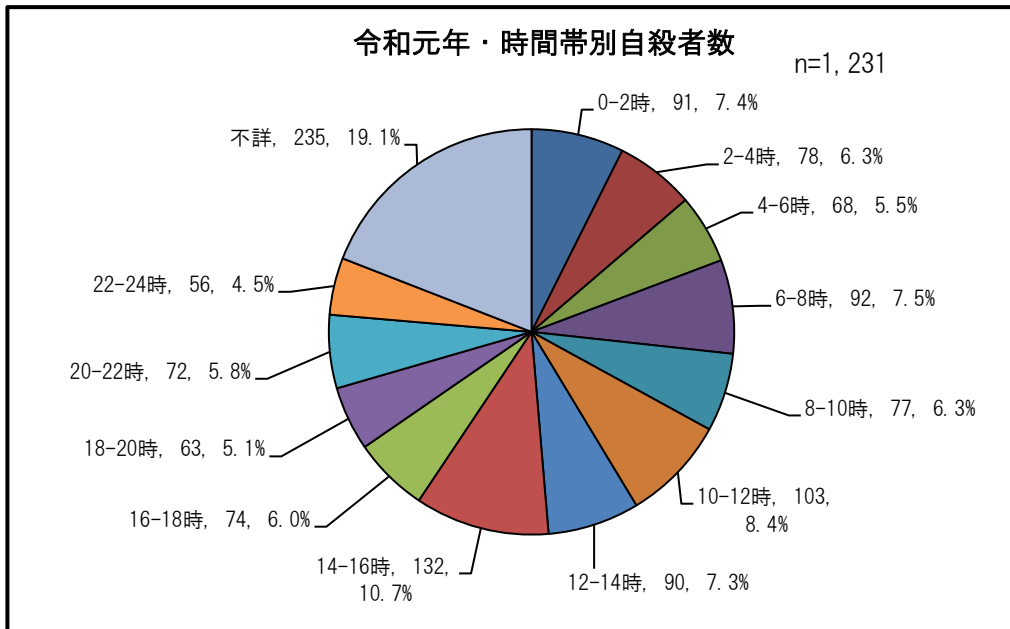


手段別自殺者数では「首つり」が723人(58.7%)と6割弱を占めています。次いで「飛降り」が258人(21.0%)となっています。

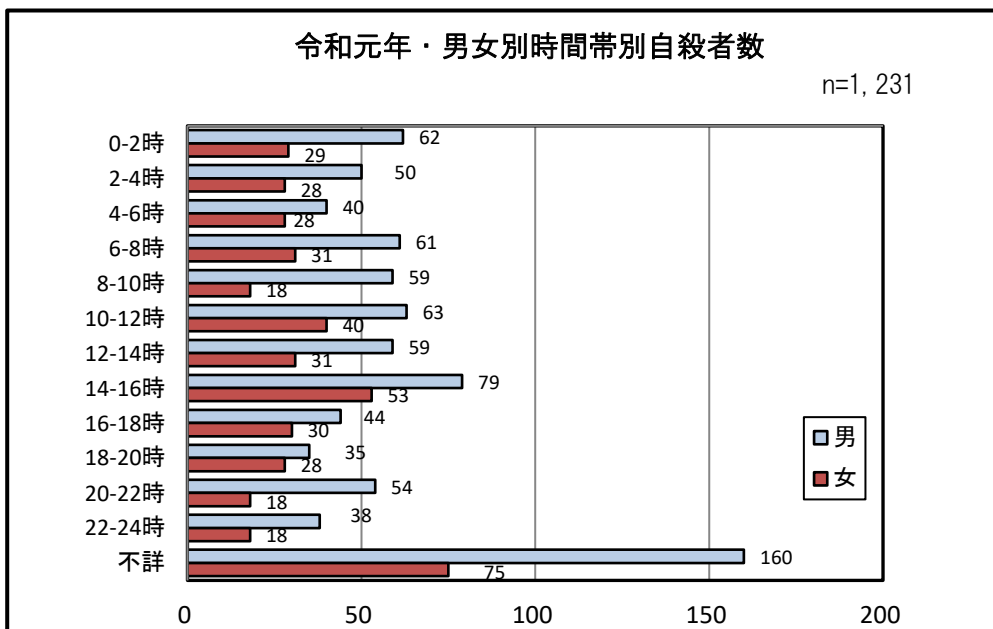


男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。

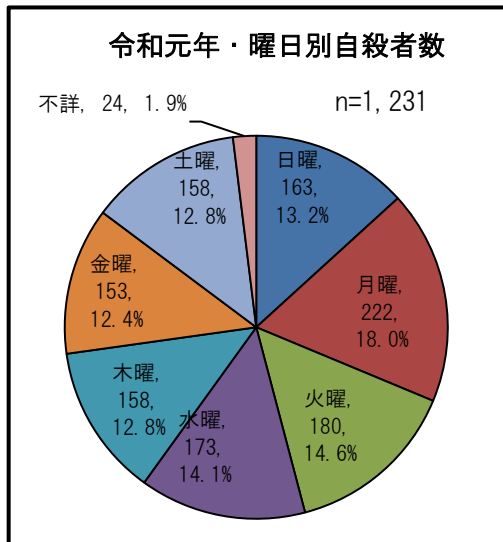
昨年と比べ、男女ともに「飛び込み」が増え、女性の「飛降り」が減っています。



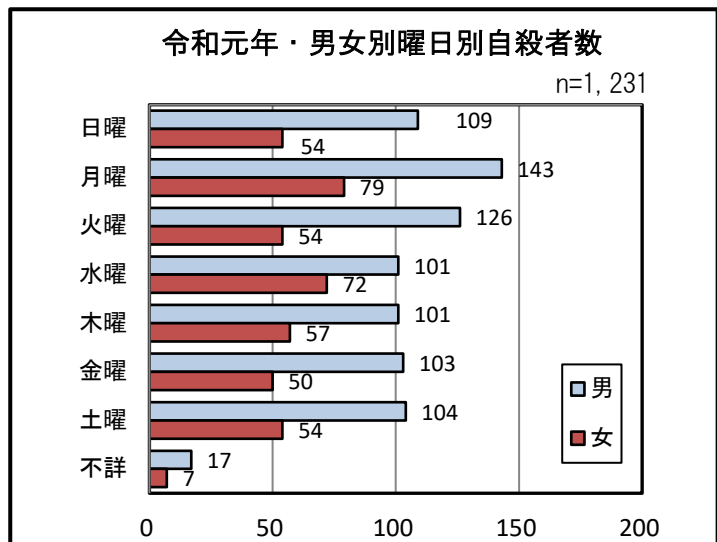
時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「14～16時」の132人（10.7%）で、少ない時間帯は「22時～24時」56人（4.5%）となっています。



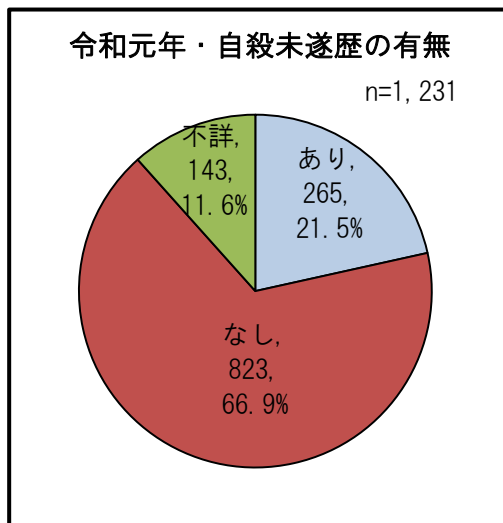
男女別の時間帯別自殺者数については、男女ともに多い時間帯は「14～16時」となっています。



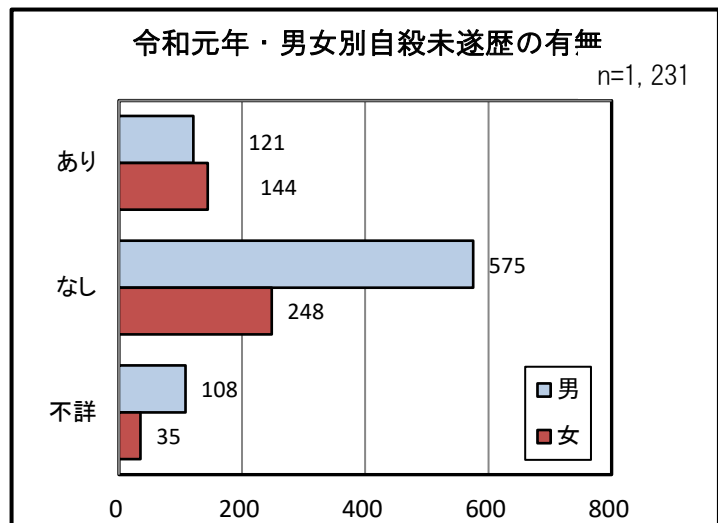
曜日別自殺者数の割合は、「月曜日」が多く、「金曜日」が少なくなっています。



男女別の曜日別自殺者数では、男性は「月曜日」「火曜日」「日曜日」が多く、女性は「月曜日」「水曜日」が多くなっています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は265人（21.5%）、「なし」は823人（66.9%）となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は121人（15.0%）、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は144人（33.7%）となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性よりも多くなっています。